

# 見学型実習から参加型実習への転換

—参加型実習実現に向けてのOSCE(客観的臨床能力試験)の役割—

第6回獣医学教育改革シンポジウム  
9月16日2012年

# 本日の内容

- 1) 獣医学OSCE (vetOSCE) の概要 はじめに 北川 均  
岐阜大学
- 2) vetOSCEにおける医療面接 鷺巣月美 日本獣医生命科学大学
- 3) 産業動物に関するOSCE 山岸則夫 岩手大学、高橋正弘 大阪府立大学
- 4) 教育用シミュレーターの開発 山内浩之 (株)京都科学 (研究開発部 松岡紀之)
- 5) 小動物に関するvetOSCE 藤井洋子 麻布大学、上地正実 日本大学

## 総論

9月15日 第7回獣医学教育改革委員会

vetOSCE (獣医学オスキー) の役割と事業推進案

# オスキー

(OSCE: Objective Structured Clinical Examination)

- 臨床実習を行うための基本的な臨床能力を確認する**実技**試験
- CBT (Computer Based Testing: 学力を問う試験)と対応する
- 国家試験ではない
  - …各大学が主体となって実施する

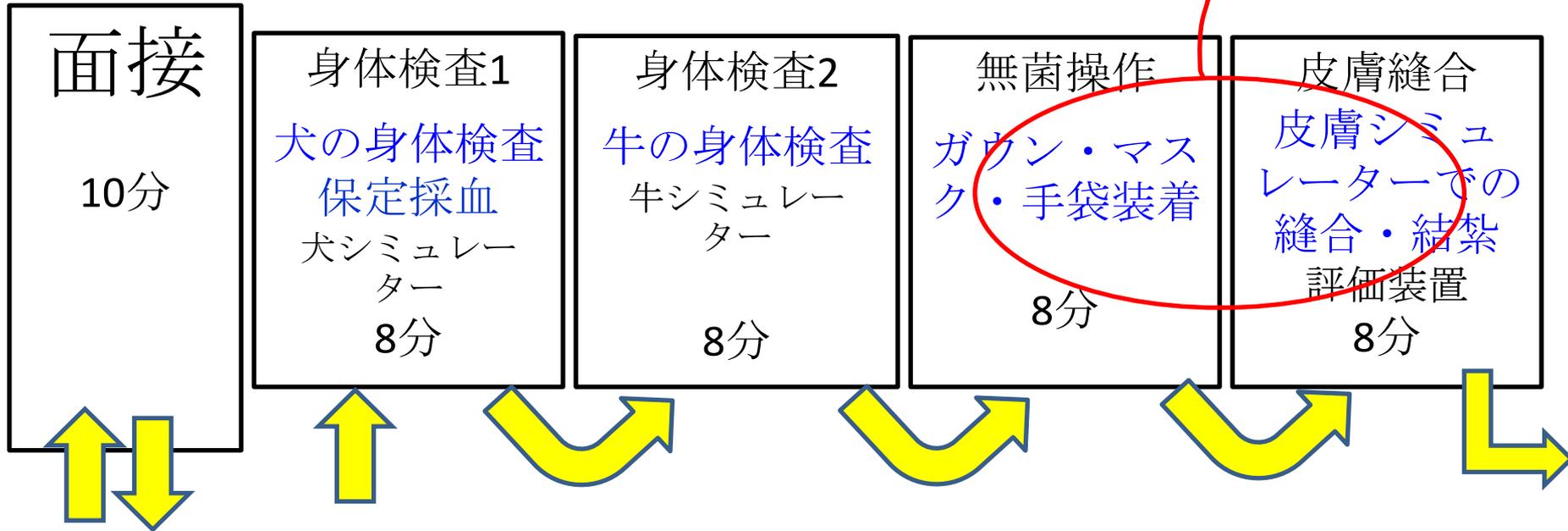
vetOSCE (獣医学オスキー)  
身の丈 (学生数、教員数) に  
適合した内容で行う



# vetOSCE 概要

検討中  
原案

一つにできる？



## 所要時間

学生40名として仮計算

面接:  $10分 \times 40名 = 400分$  (6時間40分)

実技:  $8分 \times 40名 + 8分 \times 4ステーション = 344分$  (5時間44分)

複数レーンでも同じ所要時間

# 評価

検討中  
原案

## 面接

身体検査1

犬の身体検査  
保定採血

身体検査2

牛の身体検査

無菌操作

ガウン・マスク  
手袋装着

皮膚縫合

皮膚シミュ  
レーターでの  
縫合・結紮

評価者 臨床の教員である必要はない

面接ステーション: 内部1名、外部1名

他のステーション: 内部各1名、

4ステーション全体で外部1名

# 評価

## 4 段階

- 4 (A) : 良い (良くできる)
- 3 (B) : 合格レベル (最低要求レベルより上)
- 2 (C) : 合格境界領域
- 1 (D) : 不合格

2 (C)が3つ以上あった

追試

# スケジュール

平成25 年度

後期 第1 回CBTトライアル(5 年生、数校希望者)

平成26 年度

2 月 第2 回CBTトライアル(5 年生、参加表明全校・希望者)

第1 回OSCEトライアル(5 年生、数校希望者)

平成27 年度(本格実施と同じスケジュール)

2 月 第3 回CBTトライアル(5年生、参加表明全校・希望者)

第2回OSCEトライアル(5 年生、参加表明全校希望者)

平成28 年度(本格実施)

2 月 第1 回共用試験(4 年生、参加表明校・全員)

# それでは各論へ・・・

共用試験・・・必要なこと

急には実施できない

内容を理解し、準備を進める

よろしくお願いします。

